

県立高等学校の適正配置に関する検討に係るヒアリングの実施について

1 ヒアリング内容及び対象者

番号	実施予定日		内容	氏名	所属等
	10/31	11/30			
1	15:10～		各学科等の現状と課題及び今後の在り方について	農業	柘田 義文 磯城野・校長
2	15:25～			商業・情報	中井 基雄 (代理 鶴田和也) 奈良情報商業・校長 (同・教頭)
3	15:40～			定通	山本 博通 大和中央・校長
4	16:00～			体育	木村 孝之 添上・校長
5	16:15～			国際・英語	森本 俊雄 法隆寺国際・校長
6	16:30～			福祉	川北 励 榛生昇陽・校長
7		14:10～		工業	岩崎 俊哉 御所実業・校長
8		14:25～		家庭	匠原記世子 郡山・校長
9		14:40～		芸術	西田 敏夫 十津川・校長
10		15:00～	今後の県立高等学校の在り方について	安井 孝至 奈良・校長 (高校校長協会会長)	
11		15:15～	今後の県立高等学校の在り方について	真中 章乃 法隆寺国際 (高校PTA協議会会長)	

2 ヒアリング方法

以下の(1)(2)のいずれかの方法で実施する。

- (1) ヒアリング対象者からの直接説明
- (2) 提出文書を基にした県教育委員会事務局職員からの説明

※説明10分程度、質疑5分程度

3 日程

10月31日(火)または11月30日(木)の教育委員会会議で実施

4 その他

- ・各ヒアリング対象者は、ヒアリング内容についてまとめた資料(様式自由)を作成し、実施日の3日前までに教育振興大綱推進課に送付する。

(案)

29.10.31

教育委員会会議臨時会資料

第1回奈良県立高等学校の適正配置検討地域別協議会の実施について

- 1 実施時期 11月中・下旬
- 2 出席者 各地域内の中学校長及び県PTA協議会代表
- 3 聴取内容 今後の県立高等学校の在り方について（特に、高校の特色化の推進及び地域を支える人材の育成について）
※資料1「第1回奈良県立高等学校の適正配置検討地域別協議会意見聴取・意見交換内容の骨子（案）」参照
- 4 その他 議論の参考とするため以下のとおり中学校関係者対象のアンケートを実施
 - (1) 実施時期 11月上・中旬
 - (2) 対象者 県内市町村立中学校長及びPTA会長
 - (3) 聴取内容 今後の県立高等学校の在り方について
※資料2「県立高等学校の適正配置に関するアンケート（案）」参照

第 1 回奈良県立高等学校の適正配置検討地域別協議会 意見聴取・意見交換内容の骨子（案）

- 1 県立高等学校が、時代の進展や社会の変化などに対応するため、さらなる特色化を推進することについて
- 2 県立高等学校が、地域の活性化に資するため、地域を支える人材の育成を推進することについて
- 3 その他、県立高等学校の適正配置に関することについて

（参考）

- ・奈良県教育振興大綱には、県立高等学校の役割等について、以下のように示しています。

特に県立高等学校では、高等学校教育の普及及び機会均等の確保の観点から、私立、市立、国立高等学校等の配置状況を考慮しつつ、今後の生徒数の減少に対して、全県的な視野に立って、地域の活性化に資するための配置及び規模の適正化に努めなければなりません。また、時代の進展、社会の変化や高等学校教育に期待される様々なニーズに対応した特色ある学校をつくることにより、地域の教育、福祉、文化を支える人材の育成を担うべきです。

（奈良県教育振興大綱 P34-35 http://www.pref.nara.jp/secure/158184/nara_taikou02.pdf）

県立高等学校の今後の在り方に関するアンケート（項目案）

1 今後の県立高校の姿として望ましい高校のイメージ

- 1 専門的な事項が学べ、資格の取得や就職に必要な能力を身に付けられる高校
- 2 進学対応のプログラムがあって、希望する大学等への進学を目指せる高校
- 3 興味や関心のある事項を学べ、それを生かした進学も就職も目指せる高校
- 4 地域の課題に関する事項が学べ、将来地域の担い手となるための基礎が学べる高校
- 5 部活動が活発で、希望する部で活躍できる高校
- 6 時間割が各自柔軟に組め、自分の生活スタイルに合わせて学べる高校
- 7 その他（具体的に)

2 今後の県立高校の魅力づくりとして大切だと思うこと

- 1 職業に関する科目が充実しており、いろいろな技術や資格を取得するための機会を提供できること
- 2 大学や産業界との連携が充実しており、教員だけでなく各分野で優れた専門性をもつ人材からの授業を提供できること
- 3 授業で発展的な内容を積極的に取り上げており、学習意欲を一層高める機会を提供できること
- 4 個に応じた学習支援が充実しており、基礎的な学力を確実に身に付ける機会を提供できること
- 5 地域との連携・協働が充実しており、地域で学ぶ機会や、地域課題の解決に向けて積極的に貢献する機会を提供できること
- 6 学校行事やボランティア活動が充実しており、豊かな人間性や社会性を身に付ける機会を提供できること
- 7 外国語の学習や国際交流が充実しており、豊かな語学力やコミュニケーション能力、異文化理解の精神等を身に付ける機会を提供できること
- 8 コンピュータなどの教育設備が充実しており、それを活用した最先端の授業を提供できること
- 9 その他（具体的に)

3 今後の県立高校の適正な配置の視点として大切だと思うこと

- 1 生徒数の増減を踏まえ、各地域にバランスよく配置すること
- 2 どの地域に居住する生徒にとっても、幅広い選択肢を確保すること
- 3 各学校の実情に応じて、特色を発揮した学習活動ができるよう規模に配慮すること
- 4 その他（具体的に)